

プラズマ・核融合学会誌

第91巻第7号

2015年7月

解	説	MHD乱流に対するHall効果の物理とモデル化	三浦英昭, 荒木圭典	441
小	特	核燃焼プラズマにおける核弾性散乱とその炉心特性への影響		
		1. はじめに	松浦秀明	449
		2. 核弾性散乱とは	中尾安幸	451
		3. 磁場閉じ込めプラズマ中の核弾性散乱効果	松浦秀明	458
		4. 磁場閉じ込めD- ³ Heプラズマの自己点火条件に対する核弾性散乱効果	御手洗修	463
		5. 慣性閉じ込めプラズマ中の核弾性散乱効果	城崎知至	468
		6. 高温プラズマにおける核弾性散乱効果の検証法	松浦秀明	473
		7. おわりに	高橋俊樹	476
講	座	核融合構造材料における機械的特性の評価手法とデータ解析		
		4. 破壊靱性試験法とデータ解析の実例	山本琢也	479
		5. まとめ	室賀健夫	489
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト				490
インフォメーション				491
ITER だより ⁽⁵²⁾				
ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告 ⁽⁴⁹⁾				
【会議報告】IEEE International Conference on Plasma Science (ICOPS2015) / 26th Symposium on Fusion Engineering (SOFE2015)				
【人事公募】				
Plasma & Fusion Calendar				502
本会記事				503
【こちら編集委員会です】2015 編集年度スタート!				
おわびと訂正				503
編集後記				

表紙の絵

TST-2とLATE装置では、高周波による球状トカマクの立ち上げを研究している。前者では低域混成波、後者では電子サイクロトロン波を用いている。両プラズマでのイオン温度とフローを比較するために、同一の可視分光器を用いて測定を行った。この図は、TST-2(a)とLATE(b)における測定視線を示したもので、水平面とポロイダル断面上での視線等が描かれている。(Shintaro TSUDA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 10, 1202064 (2015) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。